

審査委員
特別賞
(新築)

島根県

原 浩二・土床 拓也

原浩二建築設計事務所・土床建築事務所

【作品名】キノコノイエ

設 計	原浩二建築設計事務所・土床建築事務所
施 工	八光建設 株式会社
竣 工 日	2020年7月22日

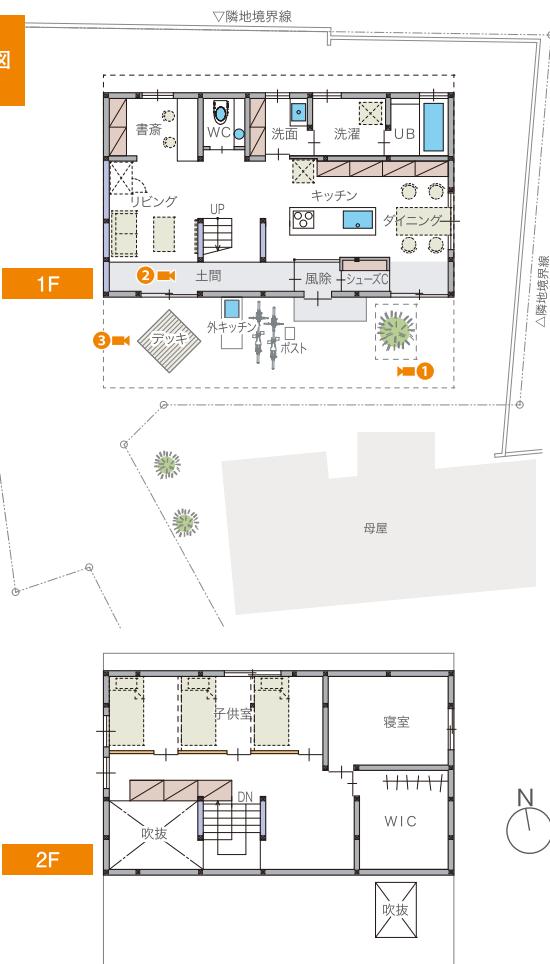
◎建物概要

建設地	島根県松江市	延床面積	109.52m ²
敷地面積	232.79m ²	構造・規模	木造2階建

◎設備面の特記

厨 房 機 器	IHクッキングヒーター
給 湯 機 器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



- 周囲を民家が覆う敷地で、周囲からの視線を遮り、また夏季の暑さを防ぐ大きな軒下空間。玄関アプローチを兼ね、生活の中心に軒下空間が活用される。
- 土間スペースは、屋外と室内をつなぎ、リビングと庭の活用性を生み出す役割を果たす。
- 2.7mのはね出した庇によってできた、子どもたちの遊び場的スペース。アプローチも兼ねている。



- 国の補助金を取得するため樹脂サッシ、断熱材等の調整・計算を行い環境負荷を低減し断熱等性能等級4を取得。屋根と外壁上部をアスファルトシングル、外壁下部を塗装サイディング張りとしている。庭へ差し込む日差しも調整している。

設計コンセプト

島根県松江市の街中にあり、4面に民家が立ち並ぶ旗竿敷地に建つ2階建ての住宅である。四方を民家に覆われた敷地でいかに住環境を整え、生活の豊かさと楽しみを得られるかを考えた。一間半(2.7m)の大きな庇を設け、そこに家族の居場所と、子供たちの遊びの場を設けた。大きな庇によって覆われた空間に家族の団らんとなるいくつかの仕掛けを用意した。外キッチン、屋外デッキ、プランコを設け、植栽を植え、軒下空間でのんびりできる。リビング、ダイニングは階段室を介して配置し、用途によって居場所のたまりをつくり、そのたまりを回遊性によってつなぎ、生活的なアクティビティを生む住宅となっている。

大庇によってできた軒下空間、室内と軒下をつなぐ土間空間、リビングダイニングなどの主生活ゾーンと、水廻りなどのサブゾーンの四層から構成されるプランを考え、2階は屋根面を利用した斜め壁をつくり施工面積を抑えている。家の最中に子供たちの様子が見えるように、キッチンを中心に置き、土間をLDKに沿って配置し、各部屋をオープンに繋げている。また室内に設けた土間スペースが屋外と室内をつなぎ、リビングと庭の活用性を広げる。

リビング、ダイニングは階段室を介して配置し、用途によって居場所のたまりをつくり、そのたまりを回遊性によってつなぎ、生活的なアクティビティを生む住宅となっている。

審査委員講評

軒下、土間、LDK、水廻りのゾーンをストライプ状に配したシンプルな平面計画の住宅。軒下にキッチン、土間に階段踊り場、LDKにアイランドキッチン、水廻りゾーンに学習スペースをとり、シンプルでありながら、住まい全体が変化に富んだ空間となっています。コンパクトに包まれて、楽しさに満ちた家族の生活が想像されます。